

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生推進交付金事業検証シート

| | | | | |
|-------------------------------|---|---|------|---------|
| 事業名 | KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【当初:(仮称)泉州観光DMO推進事業】 | | 担当課名 | 政策推進課 |
| 交付金の種類 | 地方創生推進交付金 | | | |
| まち・ひと・しごと 総合戦略におけ る位置づけ | NO | 基本目標 | | |
| | 2 | 地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。 | | |
| | NO | 施策と取組内容 | NO | 施策と取組内容 |
| | 1 | 泉大津らしさを活かした交流を促す | | |

【基本目標の数値目標】

| 指標 | 現状値 | 目標値 | H30年度実績値 |
|-------------------------|-----------|----------|-----------|
| 市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合 | H29:29.2% | R6:40.0% | H30:32.6% |
| | | | |
| | | | |

【事業の概要】

| | |
|------------|---|
| (事業の目的・趣旨) | 地域資源を本市単独で活用するのではなく、泉州地域の市町が連携し、一丸となって戦略の策定・推進や事業に取り組むことで、泉州地域への訪日旅行者数の増加を図り、ひいては本市への誘客につなげる。 |
| (事業概要等) | 「泉州」の認知度向上とさらなる誘客を図るため、一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローへ負担金を支出するとともに、連携調整会議へ出席し、より良い事業展開をめざし、積極的に意見や提案、要望などを行う。 |

【事業費】

| 項目 | R1決算額 | R1地方創生 交付金額 | R2予算額 | R2地方創生 交付金額 |
|-------------------|-------------|----------------|-------|----------------|
| 金額(単位:千円) | 7,276 | 3,638 | 5,548 | |
| 令和1年度事業費内訳(単位:千円) | 費目 | | | 金額 |
| | 負担金、補助及び交付金 | | | 7,276 |
| | | | | |

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

| 重要業績評価指標(KPI) | 現状値 | 目標値 | R1年度実績値 |
|----------------------------|-------------|------------|-------------|
| 各イベントの集客数(対象が市民限定のイベントを除く) | H30:66,500人 | R6:66,500人 | R1:105,500人 |
| | | | |
| | | | |

(成果の概要)

専門人材が従事する組織(KIX泉州ツーリズムビューロー)を設立して実施した昨年度の取り組みや短期の目標である「泉州」の認知度アップの実現に向け、動画投稿サイトやSNS、ホームページを活用した泉州地域の情報発信や、メディアやブロガーを活用したファムトリップ事業を実施し、観光振興の推進に寄与することができた。また、泉州地域の新たな目玉となる『食』ブランドを軸としたプロモーション活動の一環として、泉州13市町のご当地グルメが一堂に会する『G13泉州ご当地グルメサミット』を開催し、施設や史跡などの「観光地」に加え、「食」をフックとした観光の活性化の取り組みを新たにスタートさせた。

【今後の方向性】

| | |
|-----------------|--|
| 課題(問題点)及び今後の方向性 | 豊富な観光資源等がない泉州の各市町にとっては単独ではなく泉州地域が一丸となった誘客に取り組む必要がある。本市も観光の専門家を擁しているKIX泉州ツーリズムビューローを中心とした広域連携事業に参画し、泉州地域として観光振興を推進する方向性は継続しながらも、本市としてもさらなる誘客に向けて、課題である観光客に選ばれるコンテンツの発掘にむけ、地元の民間事業者と連携しながら魅力ある地域資源の創出に取り組んでいく。 |
|-----------------|--|